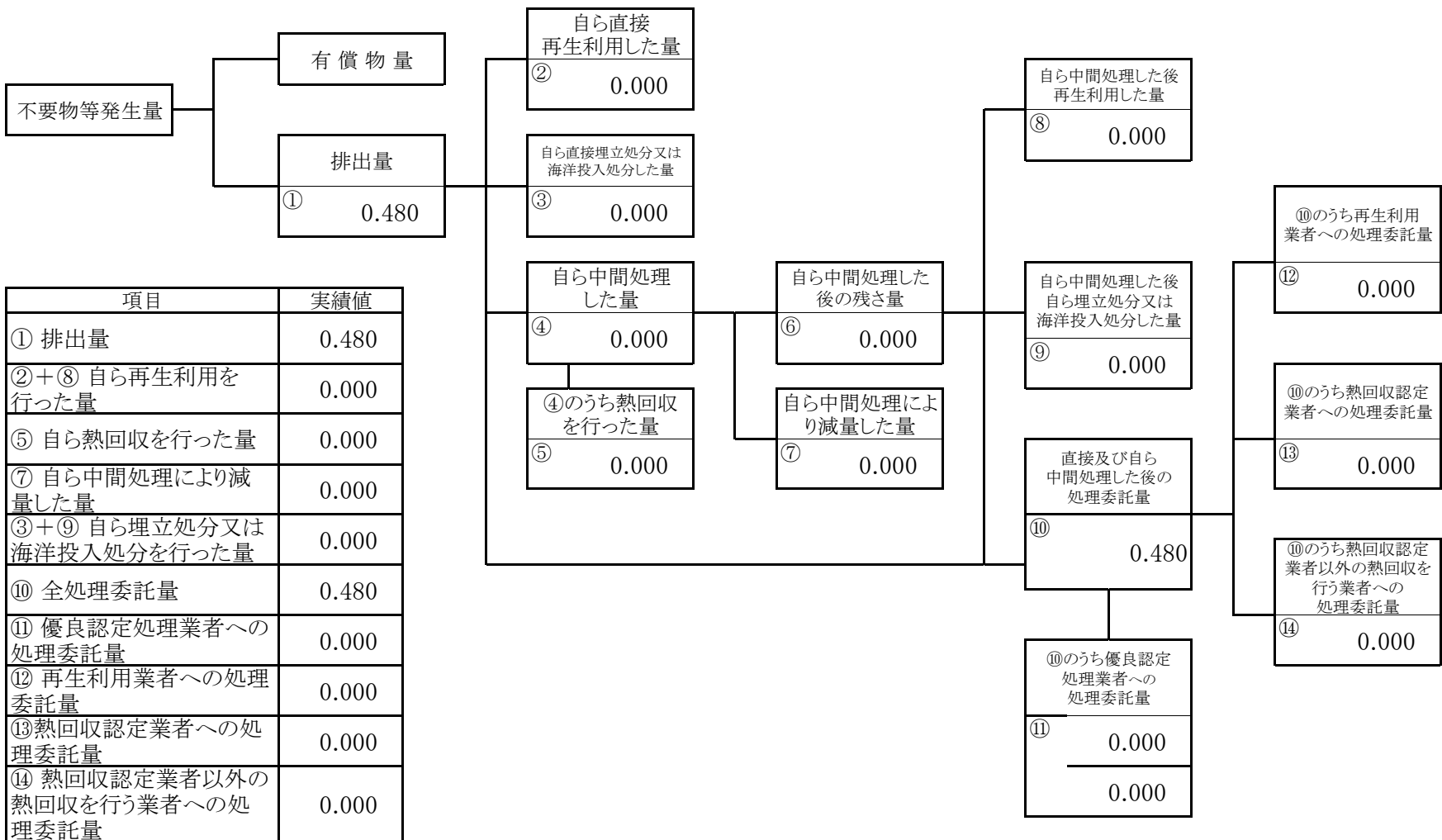


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
富山市長 藤井 裕久 殿		令和7年7月14日	
提出者 住 所 石川県金沢市西念3丁目1番9号 氏 名 中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株式会社 代表取締役 山口 直宏 電話番号 076-261-8111			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株式会社 富山事業所	
事業場の所在地		富山県富山市黒崎439番地	
事業の種類		総合工事業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和6年4月1日～令和7年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
排出量		1,000 t	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		0 t	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0 t	
全処理委託量		1,000 t	
優良認定処理業者への処理委託量		0 t	
再生利用業者への処理委託量		0 t	
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	
※事務処理欄			

計画の実施状況

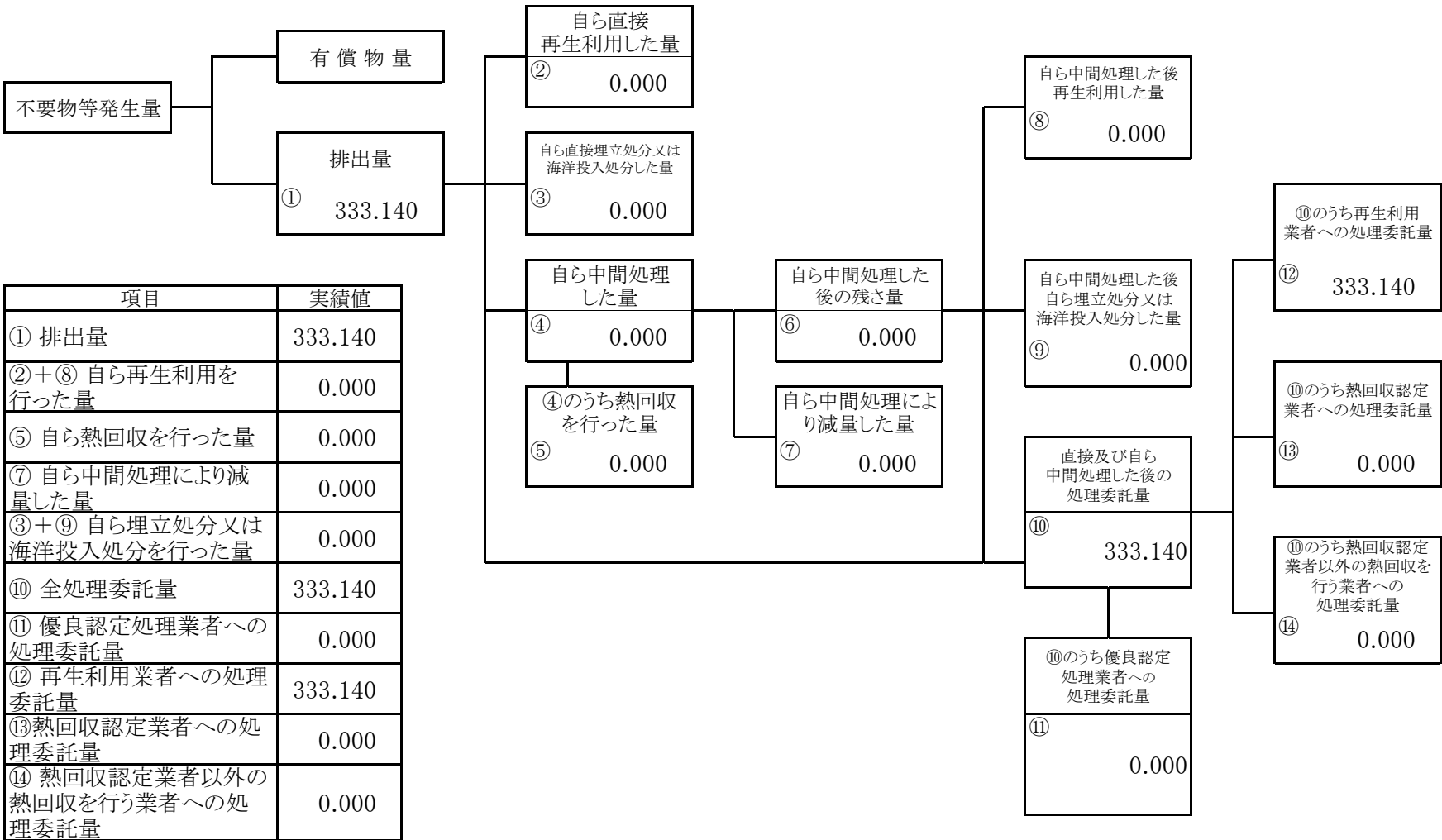
(産業廃棄物の種類： 金属くず )



(第2面)

計画の実施状況

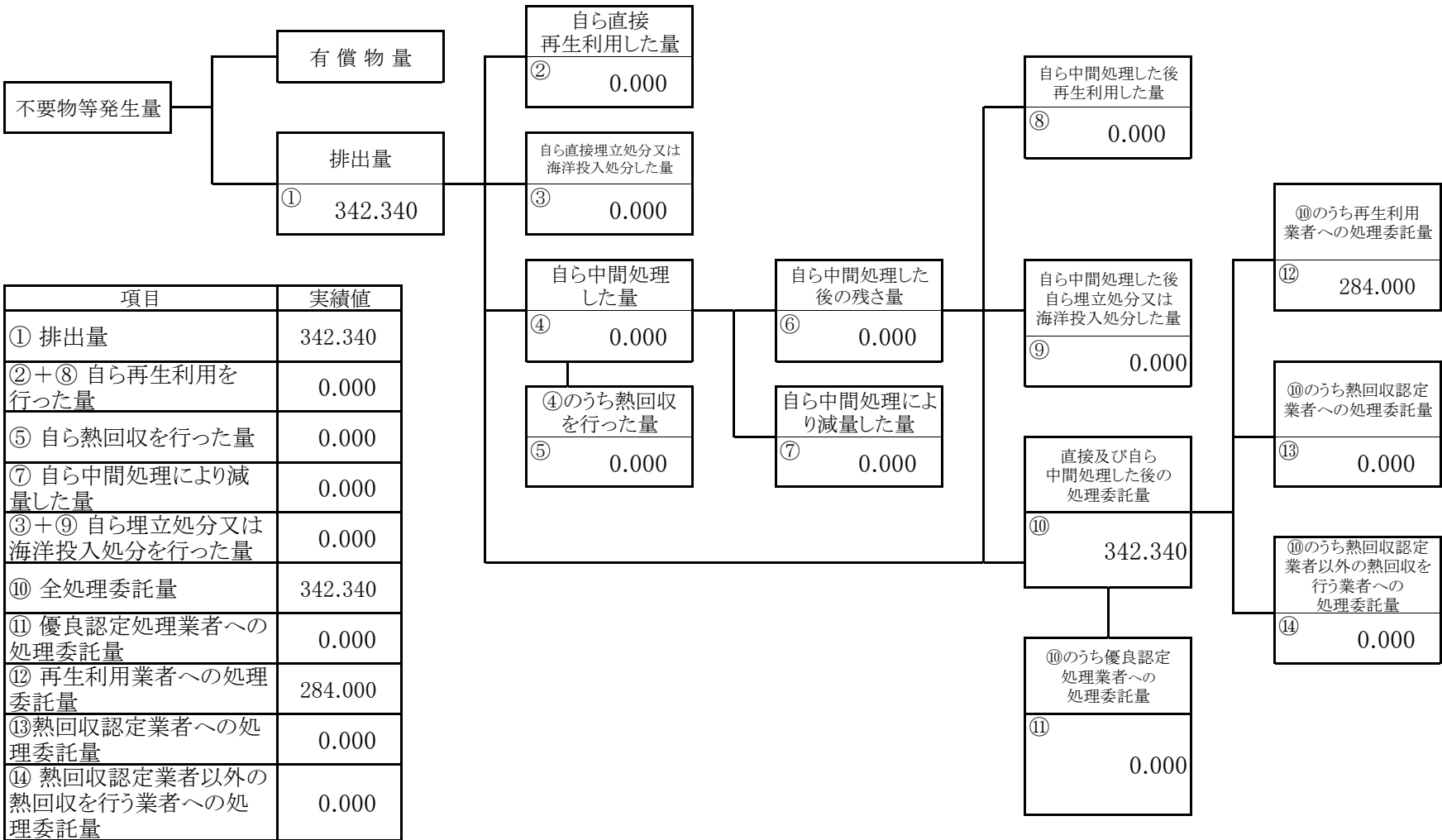
(産業廃棄物の種類： 木くず )



(第2面)

計画の実施状況

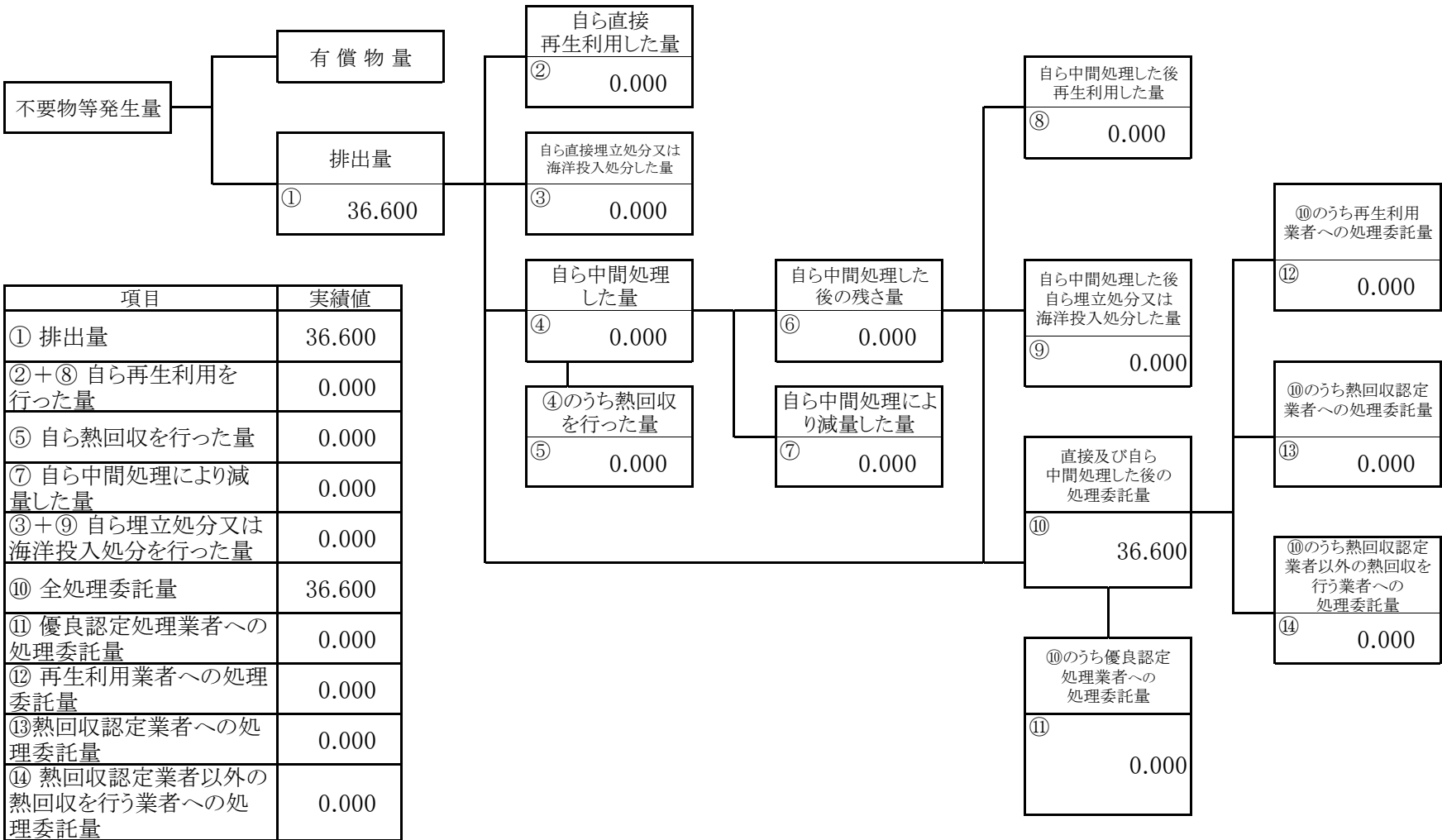
(産業廃棄物の種類： がれき類(アスファルト) )



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(コンクリート) )



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず等 )

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 151.250

自ら直接  
再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理  
した量

④ 0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩ 151.250

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ 0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

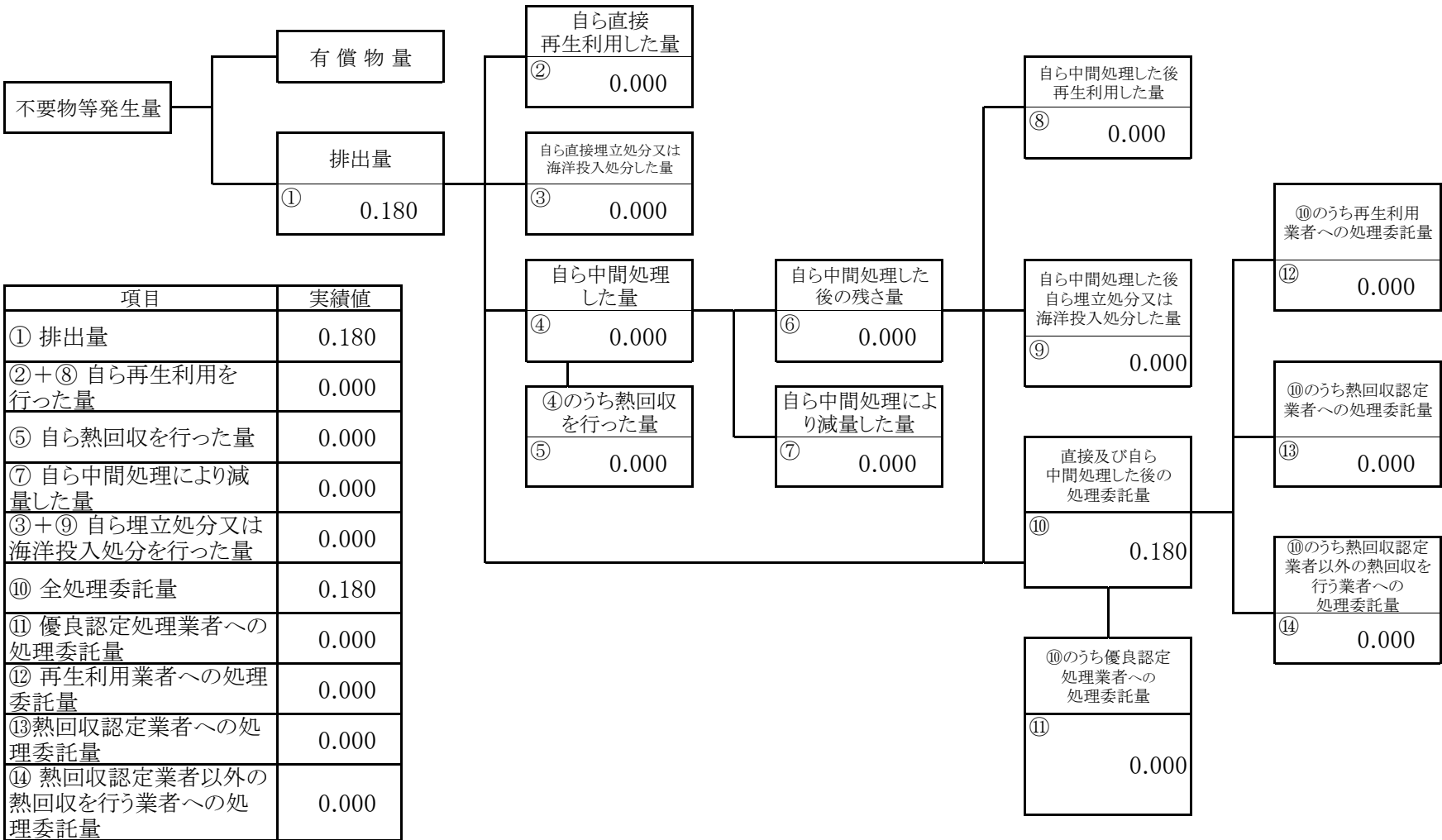
⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	151.250
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	151.250
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(第2面)

計画の実施状況

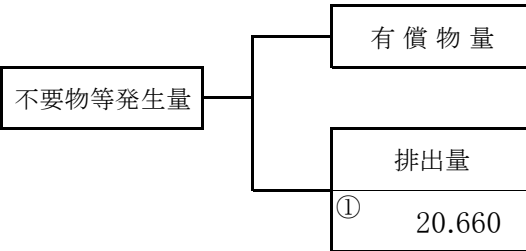
(産業廃棄物の種類： 廃油 )



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥 )



自ら直接  
再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理  
した量

④ 0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩ 20.660

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ 0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	20.660
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	20.660
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 )

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 21.409

自ら直接  
再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理  
した量

④ 0.000

④のうち熱回収  
を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理によ  
り減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩ 21.409

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪ 0.000

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の熱回収を  
行う業者への  
処理委託量

⑭ 0.000

項目	実績値
① 排出量	21.409
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.000
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.000
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩ 全処理委託量	21.409
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.000
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(第2面)

## (様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添  
単位:トン/年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
汚 泥		20.660	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	20.660	0.000	0.000	0.000	0.000
廃 油		0.180	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.180	0.000	0.000	0.000	0.000
廃 酸		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃 アルカリ		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃プラスチック類		21.409	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	21.409	0.000	0.000	0.000	0.000
紙 く ず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
木 く ず		333.140	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	333.140	0.000	333.140	0.000	0.000
繊維 く ず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
動植物性残さ		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
動物系固形不要物		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ゴ ム く ず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		0.480	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.480	0.000	0.000	0.000	0.000
金属くず		151.250	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	151.250	0.000	0.000	0.000	0.000
金属くず		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
がれき類(アスファルト)		342.340	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	342.340	0.000	284.000	0.000	0.000
がれき類(コンクリート)		36.600	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	36.600	0.000	0.000	0.000	0.000
動物のふん尿		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
動物の死体		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ば い じ ん		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
計		906.059	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	906.059	0.000	617.140	0.000	0.000

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

(第3面)

備考

市長

翌年度の6月30日までに提出すること。

藤井 裕久

- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

市第12条

(1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量

第10項の規定に基づき、令和6年度の産業

(2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量

(12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。